



2026年3月期
中間決算補足説明資料

2025年11月7日
株式会社 J-MAX

2026年3月期中間決算

1. 連結損益状況
2. 増減要因
3. セグメント業績
4. 設備投資額、減価償却費
5. 連結キャッシュフローの状況
6. 財務状況

2026年3月期通期予想

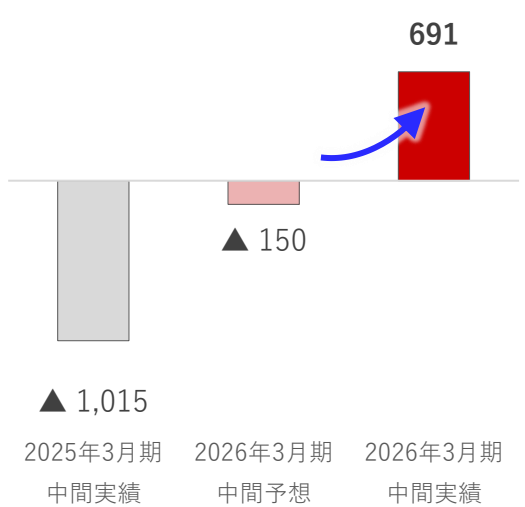
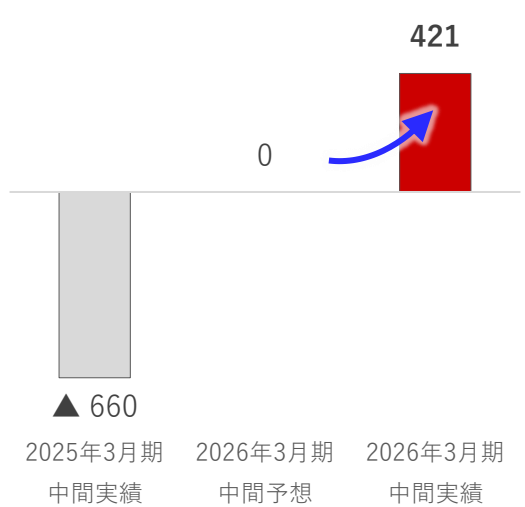
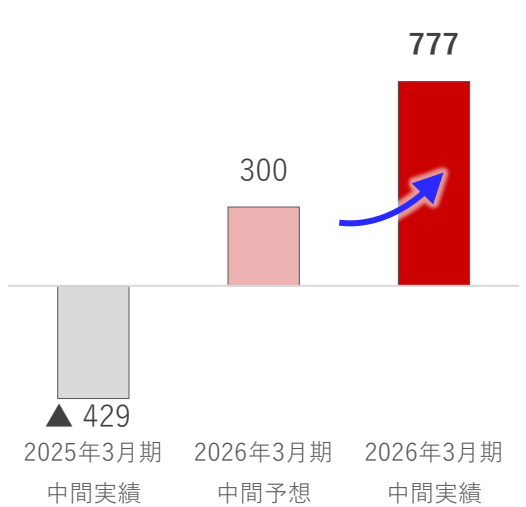
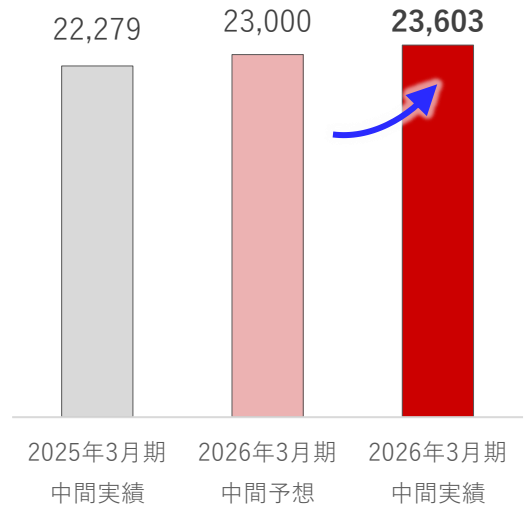
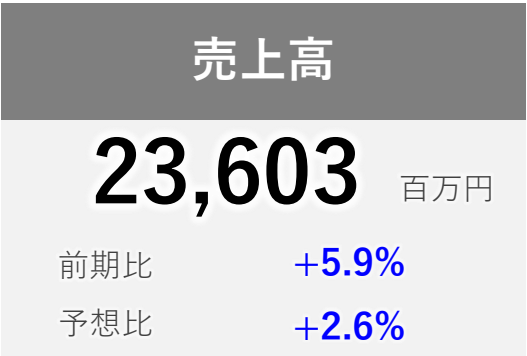
7. 通期連結業績予想

配当について

1.連結損益状況



(単位：百万円)

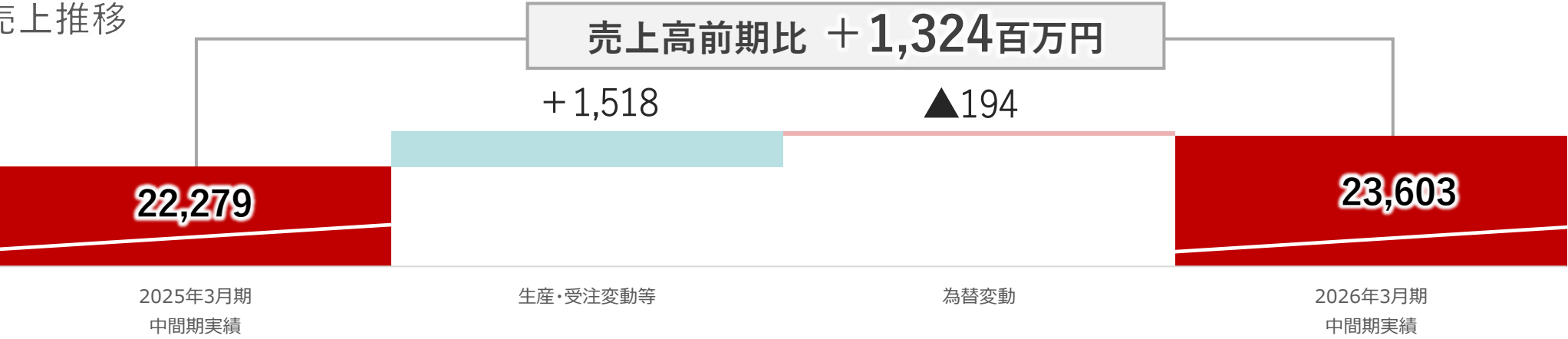


※前期比・予想比は、当期・前期・予想のうち、該当する数値の両方がプラスの場合は増減率、当期・前期・予想のうち、該当する数値の一方若しくは両方がマイナスとなる場合は増減額で記載。

| 為替レート | 2025年3月期中間実績(円) | 2026年3月期中間実績(円) | 増減金額(円) | 増減率(%) |
|-------|-----------------|-----------------|---------|--------|
| タイバーツ | 4.22 | 4.45 | +0.23 | 5.5% |
| 人民元 | 21.06 | 20.53 | ▲0.53 | ▲2.5% |

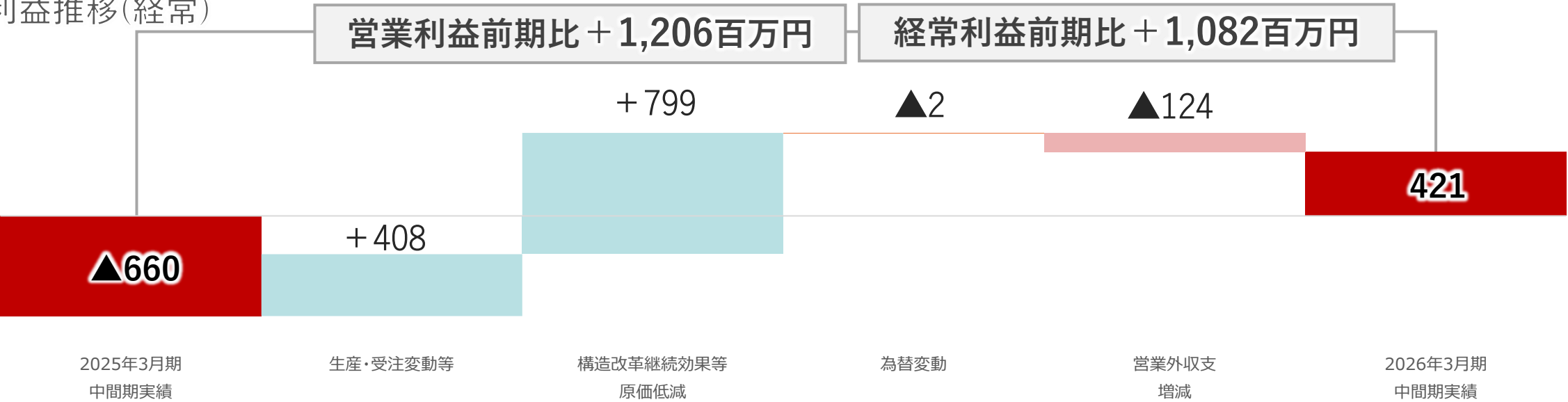
2.増減要因

◆ 売上推移



中国セグメントにおける電動化部品の増産影響により、増収。

◆ 利益推移(経常)



増産影響に加え、2023年度・2024年度で実施した構造改革の継続効果により増益。黒字化まで回復。



3.セグメント業績(日本)

売上高

8,845 百万円

前期比 ▲7.7%

営業利益

115 百万円

前期比 ▲7.7%

経常利益

399 百万円

前期比 ▲16.9%

岡山工場新機種立上りにより、金型設備等の販売は増加したが、主要客先向け自動車部品の生産減少により、**売上高は減少**。

継続的な原価低減活動により固定費等の費用は減少したが、主要客先の減産影響が大きく、**営業利益、経常利益ともに減少**。



岡山工場

※前期比・予想比は、当期・前期・予想のうち、該当する数値の両方がプラスの場合は増減率、当期・前期・予想のうち、該当する数値の一方若しくは両方がマイナスとなる場合は増減額で記載。



3.セグメント業績(タイ)

売上高

3,238 百万円

前期比 +10.3%

営業利益

145 百万円

前期比 +173百万円

経常利益

96 百万円

前期比 +198百万円

主要客先の国内/海外向け自動車部品及び汎用エンジン部品等の**生産増加**により、**売上高は増加**。

前期までに実施した**構造改革**として、要員適正化及び金型事業圧縮等を中心とした**原価低減活動の継続効果**により、**営業利益、経常利益ともに増加**。



タイ・マルジュン社

※前期比・予想比は、当期・前期・予想のうち、該当する数値の両方がプラスの場合は増減率、
当期・前期・予想のうち、該当する数値の一方若しくは両方がマイナスとなる場合は増減額で記載。



3.セグメント業績(中国)

売上高

11,700 百万円

前期比 +17.1%

営業利益

529 百万円

前期比 +1,088百万円

※営業利益は広州、武漢、福建の単純合計

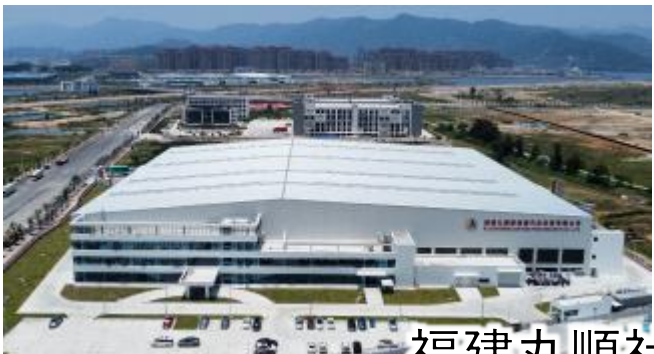
経常利益

266 百万円

前期比 +978百万円

日系メーカーの減産影響を受けるも、**電動化領域における拡販活動の成果及び電動化部品の大幅増産等の影響により、売上高は増加。**

前期までに実施した要員適正化及び生産能力適正化等の**構造改革継続効果の影響により、営業利益、経常利益ともに増加。**

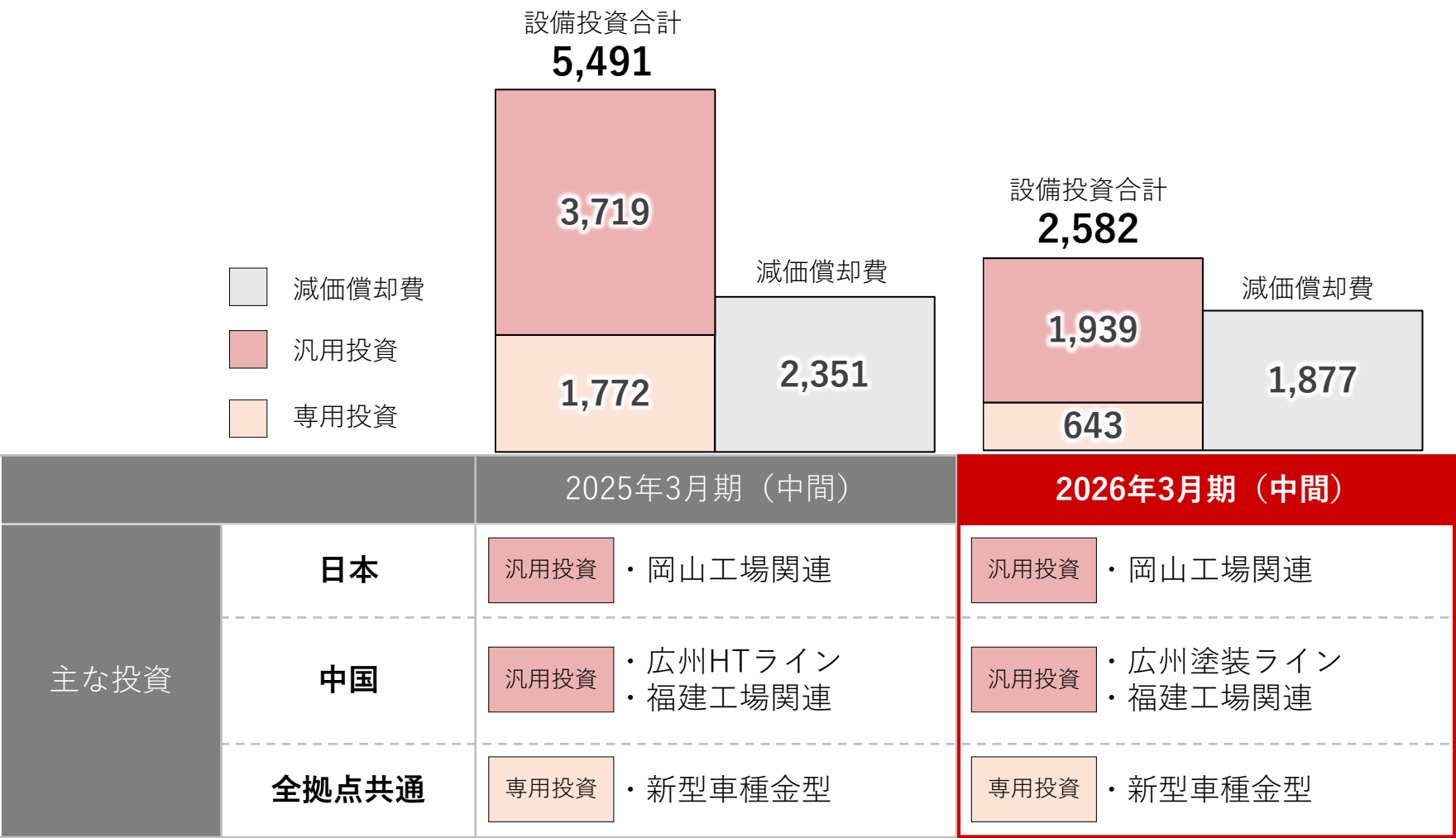


福建丸順社

※前期比・予想比は、当期・前期・予想のうち、該当する数値の両方がプラスの場合は増減率、
当期・前期・予想のうち、該当する数値の一方若しくは両方がマイナスとなる場合は増減額で記載。

4.設備投資額、減価償却費

(単位：百万円)



構造改革(生産能力適正化)の取組みにより減価償却費を抑制。

日本は岡山工場関連、中国は電動化部品受注に伴う、

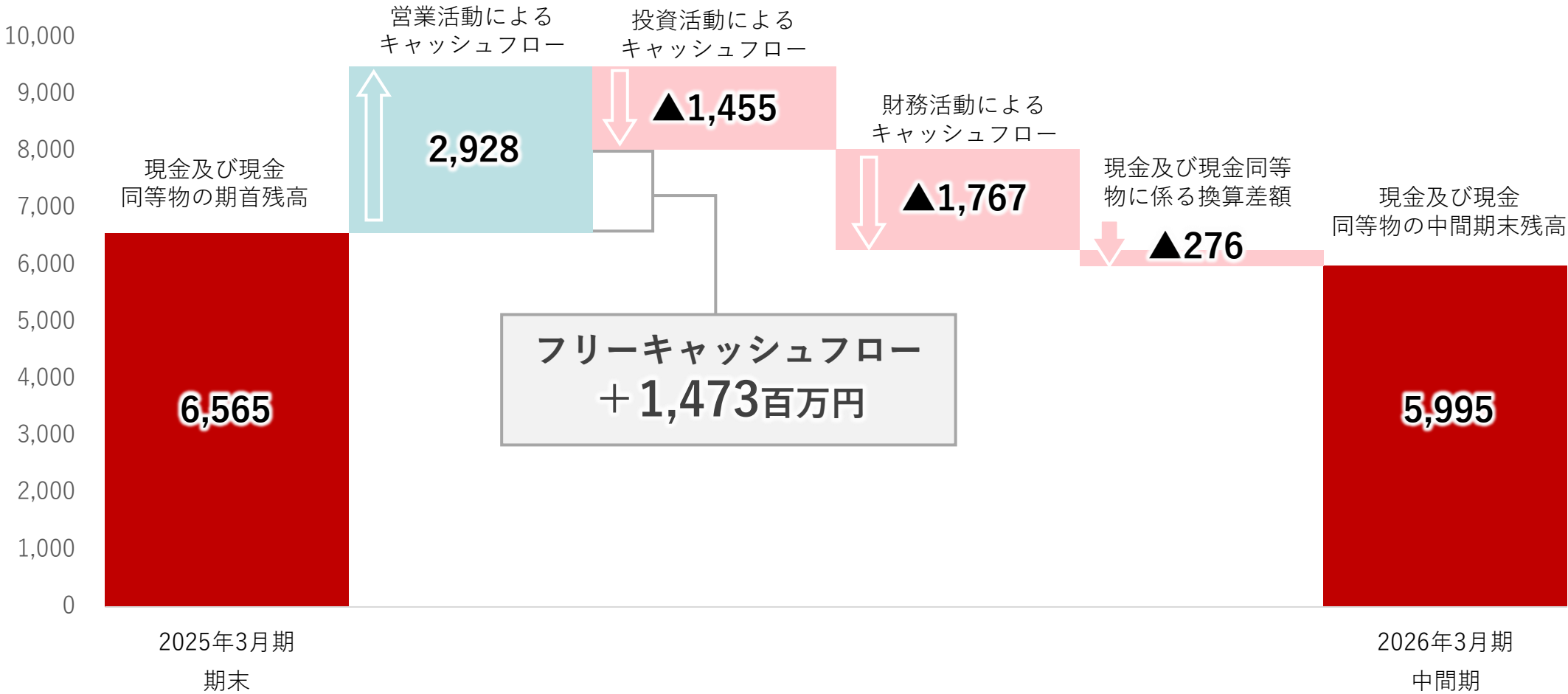
新生産ライン投資(能拡投資含む)等の中長期的な成長投資を中心に推進。

専用投資は、金型等の設備製作が発生する対象機種の減少により前期比減少。



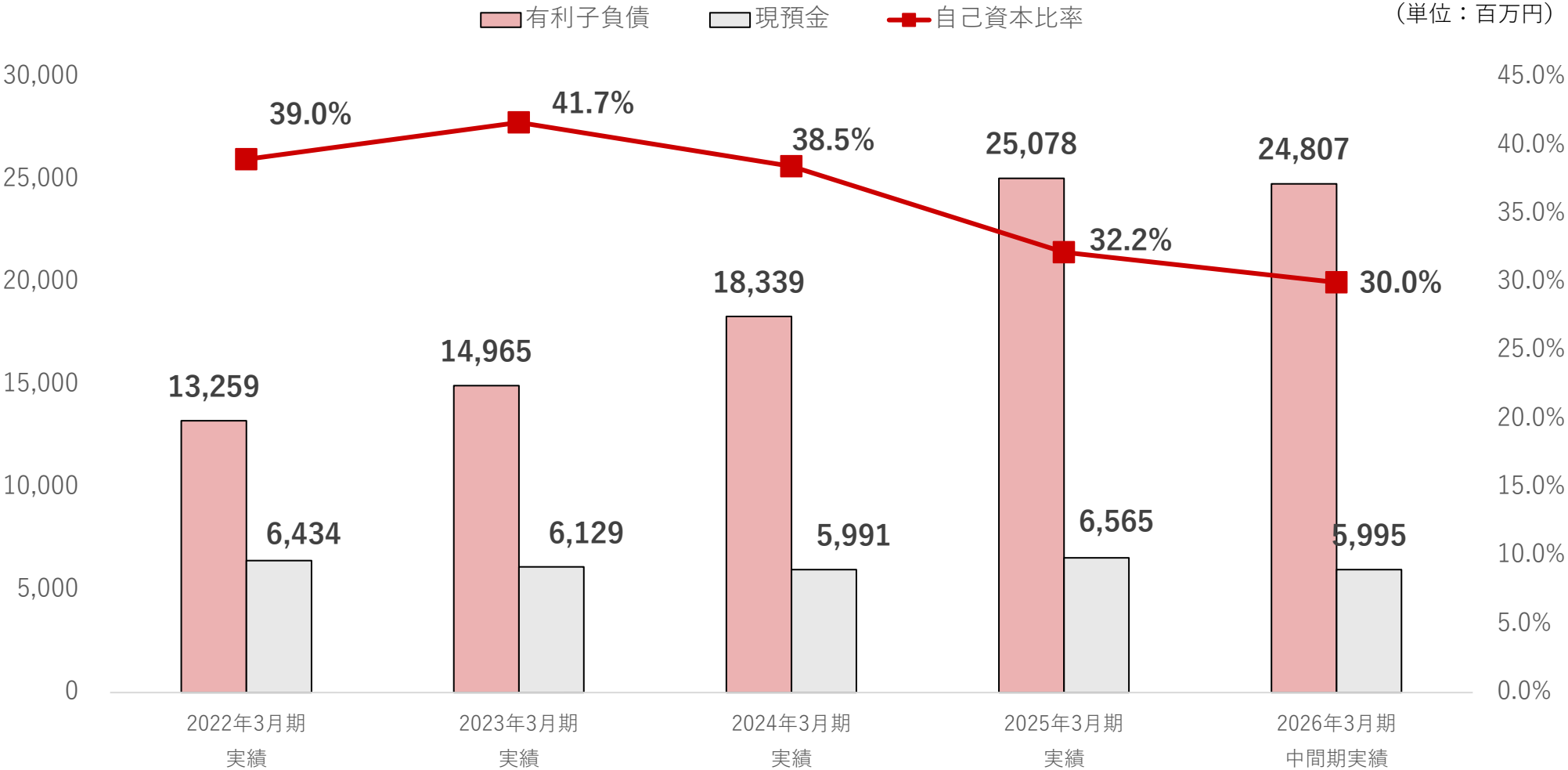
5.連結キャッシュフローの状況

(単位：百万円)



主要客先の増産及び事業構造改革効果による利益創出に加え、投資の抑制等により
フリーキャッシュフローは+1,473百万円

6.財務状況



岡山工場及び中国福建工場立ち上げ等の成長投資により増加した有利子負債は、依然として高い水準で推移
自己資本比率については、為替の影響により減少するも、一定水準を維持

7.通期連結業績予想

(単位：百万円)

- 2026年3月期第2四半期において、連結子会社である北米子会社インディアナ・マルジュン社の清算終了に基づき特別利益を計上（2017年3月末より事業停止）
- 通期予想ついて、上記影響により当期純利益の業績予想を修正

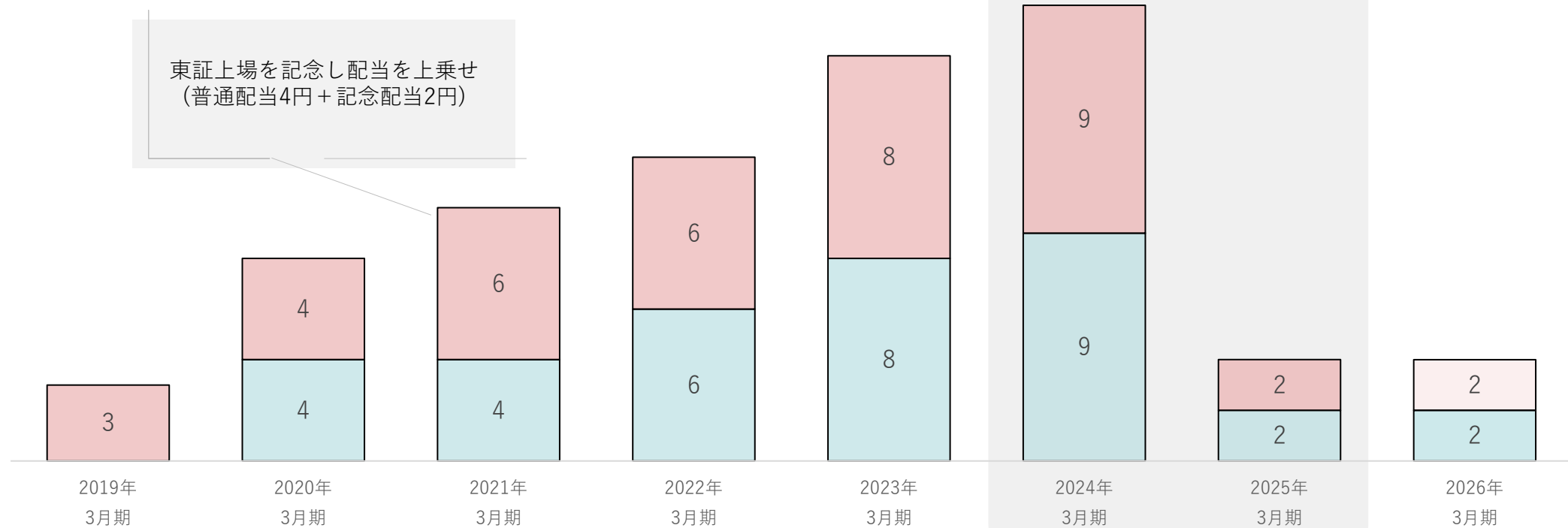
| | 2025年3月期 実績 | 2026年3月期 前回予想 (5/9) | 2026年3月期 修正後予想 | 増減額 | 増減率 |
|-----------|----------------|---------------------------|-------------------|-----|--------|
| 売上高 | 47,102 | 49,000 | 49,000 | 0 | 0.0% |
| 営業利益 | 19 | 1,500 | 1,500 | 0 | 0.0% |
| 営業利益率(%) | (0.0%) | (3.1%) | (3.1%) | | |
| 経常利益 | △535 | 800 | 800 | 0 | 0.0% |
| 経常利益率(%) | (-) | (1.6%) | (1.6%) | | |
| 当期純利益 | △3,282 | 350 | 850 | 500 | 142.9% |
| 当期純利益率(%) | (-) | (0.7) | (1.7%) | | |
| 一株利益(円) | △286.34 | 30.53 | 74.11 | | - |

| | 2026年3月期（円） |
|-------|----------------------|
| 為替レート | タイバーツ：4.49、人民元：20.60 |

配当について

配当の推移

■ 中間 ■ 期末



実績

予定


確定

連結/単体業績・将来の業績、資金需要、内部留保及び財務体質等の状況を総合的に勘案し、中間配当は2円とさせていただきます。

技術で夢を

-Make our dreams by Technology-

▼ WEBSITE

 HP ▶ <https://www.jp-jmax.co.jp>



J-MAXグループ
全体の情報を
網羅的に発信中！


▼ OFFICIAL SNS

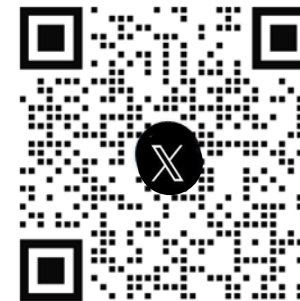
 YouTube ▶ @J-MAX3422



IR情報を中心に
動画で情報発信中！

▼ OFFICIAL SNS

 X(旧Twitter) ▶ @J_MAX3422



最新情報を
写真付きで発信中！

◆ この資料は、株式会社J-MAX（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。当資料に記載の内容は、一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成したものであり、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更する可能性があります。また、将来に関する記述については、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの内容とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

◆